

新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

「著者来たる！第9回「川から始める地方再生」サミット@高知・鏡川」を開催しました



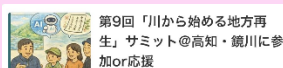
東京都から2名、北海道から2名、高知市から4名の参加！
高知市内外の関係人口が集いました♪

2月27日(金)に、【著者来たる！第9回「川から始める地方再生」サミット@高知・鏡川】と題し、「川から始める地方再生」の著者・水谷要さん(東京都在住)をお招きし、鏡川流域関係人口が集うイベントを開催しました！

現地会場の「はりまやアンサンプル」には、北海道からお越しの「ぼっちり」ユーザー「あいのまま」さんなど、日頃からオンラインで交流を深めている関係人口の皆さんを中心に、8名が集まりました！また、現地会場での対談の様子をZoomで中継し、オンライン参加者も合わせた総勢9名で対談しました。

今回のトークテーマは、鏡川流域を舞台にしたAIと人の融合体験。日頃、「AI×鏡川」をテーマにした物語を作成し、まちのコイン「ぼっちり」を通じて紹介することで、鏡川の新たな一面を発信し続けている川田玄一さん(東京都在住)を中心に、深掘りしていきました。

「ぼっちり」を通じてコメントが多数届きました！

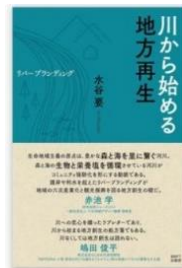


第9回「川から始める地方再生」サミット@高知・鏡川に参加or応援
+300 もらう
オンラインは特
リバーブランディング

●今までオンライン参加だったので、リアルでお会いできるのがとても嬉しいです！

●「川から始める地方再生」という大きな柱は、見方を変えれば、小さなできることを考えよう、とも読めました。場の提供、実行力に感心し、応援します。

水谷さんが代表を務める「特定非営利法人ウォーターズ・リバイタルプロジェクト」は、リバーブランディング(川を起点に地域の稼ぐ力と地域プロモーションを創造すること)を通じて、地方再生の取組を進めています。水谷さんの取組の記録や地方再生についての検討などを、著書「川から始める地方再生」に記しています。



お住まいの北海道から、これまで何度も鏡川流域に来てくださっている「あいのまま」さんと高野さん。参加者同士で「お久しぶりです～！」「また会えて嬉しい！」と、再会を喜びました。今回の登壇者の川田さんも、「お会いしたかったです！今日は自由にいろいろ喋ってくださいね！」と、明るく盛り上げます♪



川田さんは、令和4年度の鏡川流域関係人口講座をきっかけに、これまでずっと鏡川流域に関わり続けています。数年前から、生成AIに鏡川流域パートナーシップだよりや鏡川の写真などを学習させることで、自然と人のつながりをサポートする機能を備えた生成AIを創り出しました。



川田さんの発言には、いつも周りの人へのリスペクトが込められています。「ぼっちりユーザーさんのコメントが深いんですよ！鏡川の魅力もありすぎますよね！関係人口の皆さんの活動もすごい！皆さんのおかげで『AIさん』が成長しちゃう！ありがとうございます！」と熱く語る川田さんの思いやアイデアを参加者で盛り上げました。



AIを、「鏡」のように自然と向き合うツールとして活用するといった多様な意見がありました。今後も川田さんの挑戦は続きます^^



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつながり山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone



Android